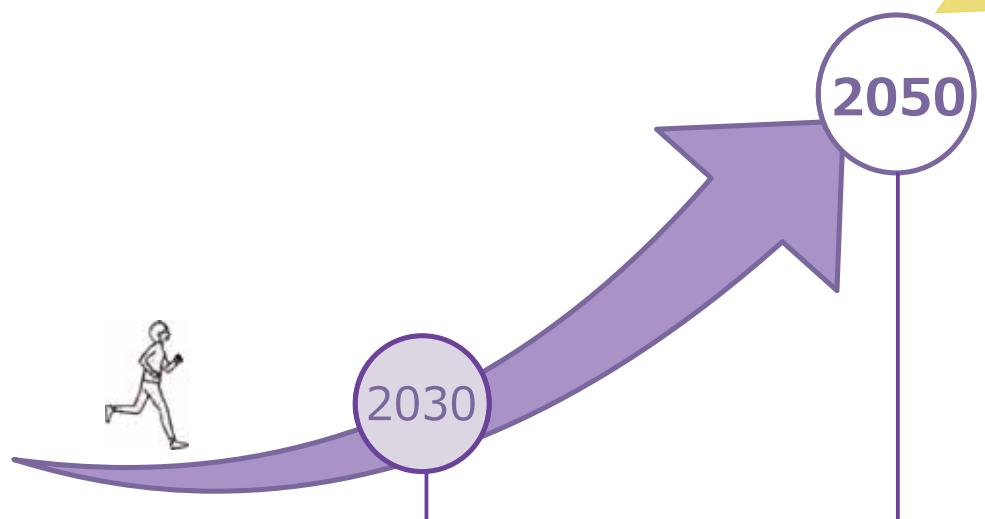


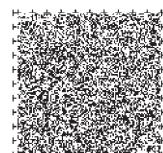
# 向けた施策

## ● 2030 年度に向けたロードマップ

目黒区は 2050 年ゼロカーボンシティの実現を目指します



取組	~2030（令和 12）年度 ゼロカーボンシティの実現に向けて特に加速させる取組	~2050 年度
家庭の省エネルギー・脱炭素の取組促進	約 6,000t-CO <sub>2</sub> 削減 ・省エネルギー型ライフスタイルの普及啓発 ・省エネルギー型設備機器等の普及啓発・導入支援	・脱炭素型ライフスタイルの定着
事業者の省エネルギー・脱炭素の取組促進	約 3,000t-CO <sub>2</sub> 削減 ・省エネルギー型ワークスタイルの普及啓発 ・省エネルギー型設備機器等の普及啓発・導入支援 ・環境配慮に取り組む事業者への支援	・脱炭素型ビジネススタイルの定着
積極的な再生可能エネルギーの活用	約 15,000t-CO <sub>2</sub> 削減 ・太陽光発電、蓄電システムなどの再生可能エネルギー設備の普及啓発・導入支援 ・再生可能エネルギー電力の普及啓発	・再生可能エネルギーの利用の定着 ・カーボンオフセットの活用推進
建物の省エネルギー化・脱炭素化の促進	約 14,000t-CO <sub>2</sub> 削減 ・新築建築物の ZEH・ZEB の普及促進 ・既存建築物の省エネルギー化の支援・普及啓発 ・街区単位での ZEH・ZEB の普及促進	・ZEH・ZEB の定着
移動の脱炭素化の推進	約 5,000t-CO <sub>2</sub> 削減 ・ZEV（ゼロ・エミッション・ビークル）、V2H（ビークル・トウ・ホーム）の普及啓発 ・区有施設への EV（電気自動車）充電設備等の設置推進・区内への設置促進に向けた普及啓発	・ゼロカーボン・ドライブの定着
ごみの削減	約 8,000t-CO <sub>2</sub> 削減 ・マイバッグ利用・簡易包装の推進 ・焼却プラスチックごみ削減に向けた普及啓発	・3R（リデュース・リユース・リサイクル）の定着



## 基本方針1

## レジリエントなまち



## カーボンニュートラルの未来をつくる

## 2032年に目指す姿

省エネルギー型・脱炭素型のライフスタイルが定着し、再生可能エネルギーでつくられた電力を利用するなど、住宅や建物のエネルギーを無駄なく利用している家庭や事業所が増えています。まちは歩きやすく、自転車が利用しやすくなっています。まちなかを走る車の多くが環境に配慮した車両です。大雨による都市型水害などの災害や熱中症に備えた行動がとれるようになっています。

## 施策の目標・主な取組

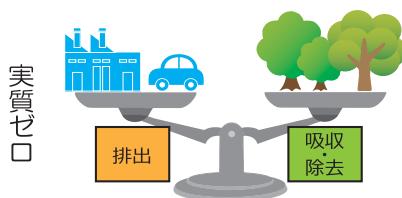
- 1-1 ライフスタイルの省エネルギー化・脱炭素化の促進**  
○省エネルギー型設備機器等の普及啓発・導入支援 など
- 1-2 積極的な再生可能エネルギーの活用**  
○再生可能エネルギー設備の導入支援 など
- 1-3 脱炭素型まちづくりの推進**  
○新築建築物のZEH・ZEBの普及促進 など
- 1-4 気候変動適応策の推進**  
○流域対策（雨水流出抑制）の推進 など



## 解説

## カーボンニュートラルとは

温室効果ガスの排出をゼロにするということではなく、日常生活や経済活動などからの温室効果ガスの排出量と、森林などによる温室効果ガスの吸収量がプラスマイナスゼロとなる状態のこと。



## 解説

## レジリエントとは

弾力や柔軟性があるさまを意味し、「レジリエントなまち」とは、自然災害などで都市機能が壊れにくく、さらに都市機能が壊れてしまってもすぐに回復する強さ（しなやかさ）を持った「まち」のこと。



## 基本方針2

## 資源が循環するまち

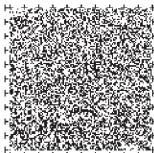
## ものを大切にして資源が循環する未来をつくる

## 2032年に目指す姿

ものや資源を大切にする行動が定着しています。食品ロスをできるだけ削減する意識が浸透し、食品ロスの量が減っています。持続可能な形で資源を利用する活動が区民・事業者の間で浸透しています。資源は適切に再使用・再生利用され、分別回収・再商品化が徹底され、ごみの排出量が少ないまちになっています。

## 施策の目標・主な取組

- 2-1 3Rの取組の推進**  
○「めぐろ買い物ルール」の普及啓発 など
- 2-2 ごみの適正処理の徹底**  
○ごみ分別ルールの徹底、排出指導の推進 など



# 向けた施策

## 基本方針3

### みどりを感じるまち



## 身近なみどりをはぐくみ、みどり豊かな未来をつくる

### 2032年に目指す姿

まちなかの公園や緑道は、地域の特性を活かして整備され、社寺林や住宅などのみどりが変わらず残されています。緑地に雨水が浸透して水が健全に循環しており、大雨などによる浸水被害が減少しています。季節の野鳥が毎年飛来し、身近ないきものとともに暮らしていくことで、暮らしの中で自然の大切さを実感できるようになっています。

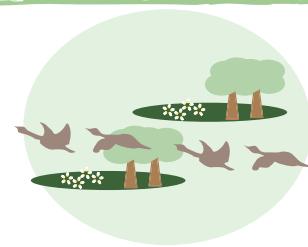
### 施策の目標・主な取組

#### 3-1 自然環境の保全・みどりの創出と質の向上

○屋上・壁面・接道緑化の推進(みどりのまちなみ助成制度) など

#### 3-2 都市の生物多様性の確保

○みどりやいきものとふれあう機会の提供 など



## 基本方針4

### 快適に暮らせるまち



## 健康で安心して快適に暮らせる生活環境の未来を守る

### 2032年に目指す姿

空気や川の水はきれいになっており、有害化学物質などを心配することなく健康に暮らすことができています。不快になるようなまちなかの騒音は少なく、ポイ捨てをしないなどのマナーが守られ、地域の協力によりごみが落ちていない美しいまちが維持されています。

### 施策の目標・主な取組

#### 4-1 安全・安心な生活環境の確保

○大気・水質・自動車騒音等の監視・情報提供 など

#### 4-2 清潔で美しいまちの維持

○美しいまちの維持に向けた環境整備 など



## 基本方針5

### パートナーシップで取り組むまち



## みなが環境を知り、学び、行動する未来をつくる

### 2032年に目指す姿

区民一人ひとり・事業者が環境について学び、考え、環境にやさしい暮らし方や事業活動が定着しています。区民や事業者が協力・連携して、環境についての情報発信や、環境を保全する活動に取り組んでいます。環境活動のネットワークが形成され、区全体への普及啓発が進んでいます。

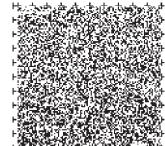
### 施策の目標・主な取組

#### 5-1 継続的な環境教育と学習機会の充実

○パートナーシップによる多様な環境学習機会の充実 など

#### 5-2 環境活動の支援

○環境活動に取り組む区民、団体への支援 など



# ゼロカーボンシティ実現に向けた重点プロジェクト

## プロジェクト

1

### エコプラザを活用した積極的な環境学習の促進

目黒区エコプラザの環境活動の拠点としての機能を強化することにより、環境負荷低減に向けた意識啓発活動をより一層推進していきます。

- 目黒区エコプラザの一部リニューアル
- 参加しやすい環境活動の輪が広がるキャンペーン

など



## プロジェクト

2

### 区内事業所におけるゼロカーボンの促進

事業者の再生可能エネルギー導入や省エネルギー化への取組を区がサポートします。  
事業者向けの地球温暖化対策「めぐろゼロカーボンプログラム」を策定します。

- 区からの情報提供や専門家による助言
- 継続的かつ効果的な取組を推奨し温室効果ガス削減を促進

など

## プロジェクト

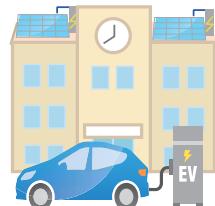
3

### 区有施設におけるゼロカーボンの推進

ゼロカーボンシティの実現に向けて、区が率先して取り組んでいきます。区有施設における省エネルギー化と再生可能エネルギー導入の両側面から、地球温暖化対策を進めています。

- 区有施設における省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の導入
- 区有施設の電力の再生可能エネルギー 100%電力化
- 府用車の ZEV (ゼロ・エミッション・ビークル) への更新

など



## 計画の推進

### ● 計画の進行管理

PDCA サイクル (Plan : 計画→Do : 実施→Check : 点検・評価→Action : 見直し) により進行管理を行い、継続的な改善を図りながら、計画を推進していきます。また、施策の進捗状況については、進捗評価の結果を「めぐろの環境（環境報告書）」に取りまとめて公表していきます。

### ● 計画の推進体制

区の区内各所属の横断的連携により施策を推進していくとともに、区民、事業者、区がそれぞれの役割を担いつつ、連携・協力により推進していきます。

## 目黒区環境基本計画【概要版】

2023(令和5)年3月発行

発行：目黒区

編集：目黒区環境清掃部環境保全課

〒153-8573 東京都目黒区上目黒2丁目19番15号

TEL 03-5722-9356 (直通) FAX 03-5722-9401

編集協力：株式会社知識経営研究所

主要印刷物番号

4-54号

